

令和6年度 国営土地改良事業事後評価

国営かんがい排水事業
大井川用水地区

令和6年5月21日

農林水産省 関東農政局

1. 事業の概要①

本地区は、昭和22年度から昭和43年度にかけて実施された国営大井川農業水利事業により、基幹水利施設の整備が行われたが、事業完了後約30年が経過し、当該施設の老朽化による機能低下が生じていました。

また、営農形態の変化等による用水需要の変化と周辺地域の開発等による還元水の減少、ため池のかい廃等による用水不足から、安定的な用水供給や適正な水配分が困難な状況になっていました。

このため、本事業及び関連事業による地区内の水利施設の整備を行うことにより、農業用水の安定供給、合理的利用及び管理方法の改善を図り、本地区の農業経営の安定を図るとともに、地区内の農業用水が従来から有している地域用水機能の維持・増進に資するものである。

関係市町：静岡県 島田市、焼津市、掛川市、藤枝市、袋井市、御前崎市、菊川市、牧之原市、吉田町

受益面積：7,450ha（田6,861ha、畑589ha）

受益者数：25,438人（計画時点：平成21年時点）

主要工事：取水工1箇所、頭首工2箇所、用水路40路線104.0km、調整池5箇所、小水力発電施設1箇所、水管理施設1式

事業費：55,552百万円（決算額）

事業期間：平成11年度～平成29年度（計画変更：平成21年度）（完了公告：平成30年度）

関連事業：県営かんがい排水事業、県営畑地帯総合整備事業、県営圃場整備事業、農山漁村活性化プロジェクト支援交付金

2. 事業効果の発現状況

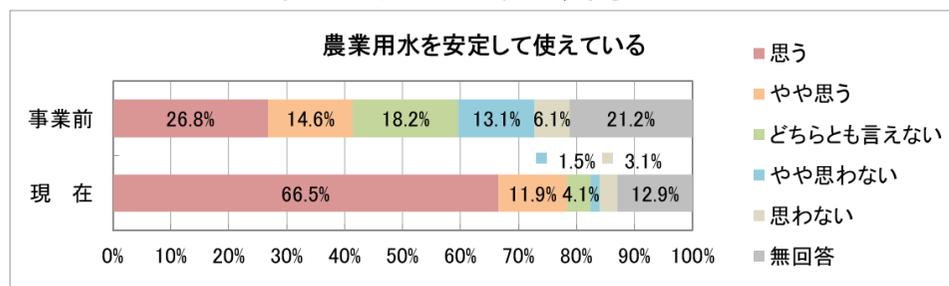
(1) 農業用水の安定供給

本事業により、川口取水口をはじめ頭首工、用水路、調整池、小水力発電施設、水管理施設等の整備を行ったことにより、安定的な用水供給、合理的利用及び管理方法の改善が図られることで、地区内の用水需要に即した適正な水配分を可能としている。

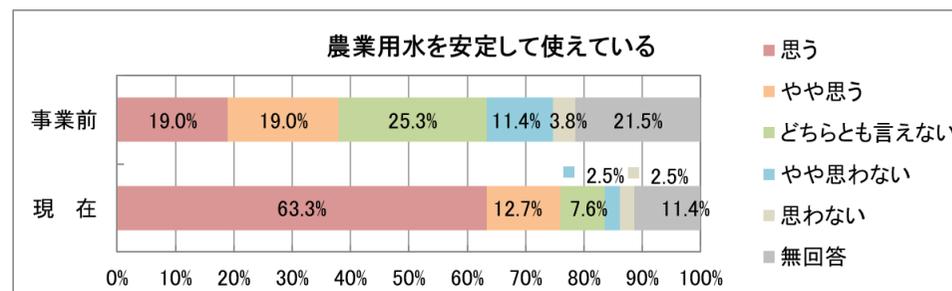
また、「ボランティア活動に関する協定書」、「災害支援協定」を締結することで、農業水利施設の維持・保全に係る適切な管理及び災害時等における危機管理体制強化が図られている。

事業実施前後の変化について、受益農家を対象にアンケート調査を実施したところ、事業実施後の効果について、「農業用水を安定して使えている」に、8割が「思う」、「やや思う」と回答した。また、「渇水時、農業用水の心配がない」に7割が「思う」、「やや思う」と回答した。

(水稻の作付がある農家)



(畑(樹園地を含む)の作付がある農家)



出典：令和5年度大井川用水地区事後評価アンケート調査

2. 事業効果の発現状況

(2) 農業生産の維持と農業経営の安定

本地区では、本事業及び前歴事業等の実施により、農業用水が安定的に供給されるとともに、水稻、小麦、大豆等の土地利用型作物やトマト、いちご、メロン等の施設園芸野菜、レタス、にんじん、さといも等の露地野菜、花き等が栽培され、農業生産が維持されるとともに、高い産地収益力の保持や担い手の体質強化により、農業経営の安定化に寄与している。

① 産地収益力の維持・強化

○農産物のブランド化の取組

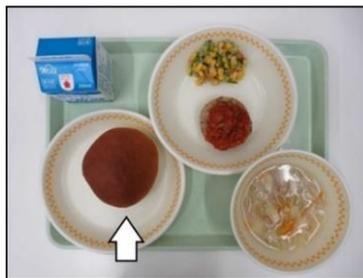
水稻、小麦、野菜における農産物のブランド化推進の取組が行われており、産地収益力の強化に繋がっている。

【JAおいがわ産金芽米】



出典：静岡県ホームページ
(静岡県水田農業の現状)

【学校給食のパン(国産小麦100%、県産小麦40%)】



出典：静岡県ホームページ (静岡県水田農業の現状)

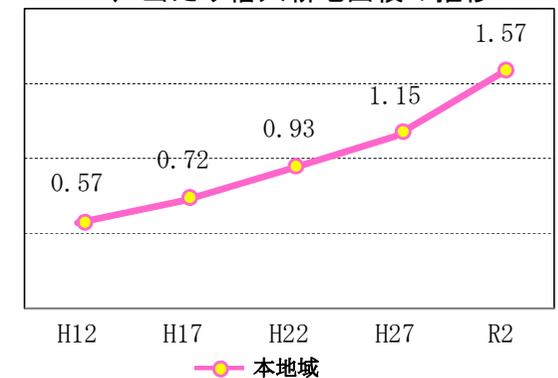
【パンケーキミックス(県産小麦100%)】



② 担い手の体質強化、育成・確保

戸当たり借入耕地面積を事業実施前後と比較すると、平成12年の0.57haから令和2年は1.57haで2.8倍に増加している。

(ha) 戸当たり借入耕地面積の推移



出典：農林業センサス

2. 事業効果の発現状況

(3) 地域用水機能の発揮

本地区では、平成13年の東海地震想定震源域の公表をきっかけに、地域住民の防災等の意識が高まった結果、地区内の土地改良区と静岡県及び関係市町等による地域用水対策協議会を組織し、平成19年に防火用水及び景観保全の地域用水機能を維持及び増進するための「地域用水環境整備計画」が策定され、本事業においては施設の更新に合わせ、特に地域から要望のある防火用水の維持・増進に資する整備を行った。

また、用水路には防火サクシオン(採水口)や消防車両の回転スペース等を設置し、災害時における用水使用が速やかに行われるよう整備も行っている。なお、災害時の用水の使用については、施設を管理する、各土地改良区と市消防団等と災害時における協定が結ばれている。

【防火サクシオン】



志太幹線用水路（採水口）



向谷幹線用水路（採水口）

【回転スペース】



志太幹線用水路（採水口と回転スペース設置）

3. 事業による波及効果

(1) 地域活動の取組

本地区内で45組織が「多面的機能支払交付金」を活用し、草刈り、水路の泥上げ等の地域資源、農村環境の保全活動、水路等施設の長寿命化に取り組んでいる。



【水路堆積泥の除去作業】



【ため池周辺の草刈】



【コスモスの植栽（道路沿い）】

出典：ふじのくに美しく品格のある邑ホームページ及び活動組織提供

(2) 6次産業化の取組

本地区では、地域で生産された農産物を使用し、地域発祥の特産品「干し芋」、米を使用したクラフトビール等の製造・販売の取組や地域のブランド化、地域活性化を進めている。

【「紅はるか」の干し芋】



出典：関東農政局 関東管内の六次産業化・地産地消法に基づく総合化事業計画認定事業者の取組事例（令和2年3月）

【吉田町のクラフトビール（よしだライスラガー）】



出典：吉田町広報誌

3. 事業による波及効果

(3) 地産地消の取組

本地区及びその周辺には農産物直売所が14か所あり、新鮮な野菜やお茶等の農産物を求める多くの観光客や地域住民で賑わいをみせている。



【ファーマーズマーケット「まんさいかん藤枝」】

出典：JAおおいがわホームページ



【ファーマーズマーケット「ミナクル市」】

出典：JAおおいがわホームページ

(4) 学習の場の提供

本事業で整備された農業水利施設を管理する関係土地改良区では、見学会の開催や視察の受け入れを実施し、本地区の農業を支える農業水利施設の重要性を学んでもらうための地域学習の場として活用されている。

【伊太発電所内部】



【栃山頭首工】



4. 事業実施による環境の変化

(1) 自然環境

本地区では、地域が有する生態系や周辺景観に配慮した整備を行うことにより、自然環境や景観の保全が図られている。



【栃山頭首工左岸に設置した魚道（プールタイプ越流式全面越流型）】 【向谷幹線水路】 幹線水路を暗渠化、人々が行き交うスペースを確保

(2) 生活環境

大井川水路橋の上面に管理用道路を整備したことにより、大井川の左右岸で車両の往来が可能となった。また、幹線水路に周辺景観に溶け込む暗色系の防護柵を設置したことにより、日常生活の安全性が確保されている。

【大井川水路橋】



【防護柵（例：志太幹線水路沿い）】

